

10・23中越大震災 社会福祉法人 長岡三古老人福祉会

法人内各施設にて被災者支援行う

～社会福祉法人の使命として～

緊急ショートステイ利用者 292名
入浴施設利用者 9,316名 (平成16年11月30日現在)



お元気でお過ごしです!!

緊急ショートステイ先にて過ごされる山古志村の皆様
(みしま園で共同通信社の取材を受ける)

中越大震災におきまして被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。
当法人としても出来る限りの支援を
させていただいております。
一日も早い復旧・復興と被災者の
方々の日常生活の回復をお祈り申し上げ
ます。

全施設定員超過の受け入れ!



緊急利用者の増加にてにぎわう食堂ホール。
各施設4人部屋を6人部屋に等、緊急対応に
追われた。(桐原の郷)

県内外からボランティアの協力!



稼働率
ピークで130%を超える
県内外から介護スタッフが応援に

NT21 11/11放送「Jチャンネル(こいがた)」

入浴利用者内訳

期間	10/27～11/30	人 数
高齢者総合福祉施設 縄文の杜 関原	8,234人	
ケアハウスけやきの杜	281人	
ケアハウス福戸	604人	
デイサービスセンター まきやま	94人	
デイサービスセンター 縄文の杜 関原	103人	
合 計	9,316人	

鳴りやまない緊急依頼の電話!



震災直後から要介護高齢者の緊急受け入れを開始。
10/25より窓口を一本化し施設間の連携を図る。
受け入れ開始当初、5本の回線は常に鳴りやま
ない状況であった。(横山けやき苑)

緊急ショートステイ受け入れ人数内訳(10/23～11/30)

	合計	内 訳												
		長岡市	越路町	三島町	与板町	和島村	出雲崎町	寺泊町	山古志村	中之島町	小千谷市	坂尾市	見附市	川口町
み し ま 園	61	18	3	27			1		7		3	1	1	
横山けやき苑	93	81	3						3		4	1		1
桐 原 の 郷	44	29				4		8		3				
グリーンヒル与板	55	17	1	9	22					3	3			
てらどまり	34	29				1		3			1			
グループホームけやき	5	5												
合 計	292	179	7	36	22	5	1	11	10	6	11	2	1	1

入浴施設無料開放!避難所へマイクロバス運行!

震災による断水のため直後からの開放は出来ませんでしたが、水道が復旧した10月27日より縄文の杜関原、デイサービスセンターまきやまにて被災者への入居施設の無料開放を行いました。翌日からはケアハウスけやきの杜、デイサービスセンターけやきの杜、ケアハウス福戸、デイサービスセンター大荒戸においても受け入れを開始し、11月30日までに全施設合計で9,316名の利用がありました。また、体育館等の避難所へは法人のバスにて被災避難の方々を送迎、要援護高齢者に対しては個別送迎をおこないました。気の張りつめた避難生活のため、厳しい表情をされた方々が多かったのですが、入浴後は皆様穏やかな表情となっておられました。

～入浴利用者からの投書～

どうなってる?縄文さん!

～皆様からのご意見や質問を承ります～

高齢者総合施設 縄文の杜関原をご利用いただき誠にありがとうございます。
当施設では皆様にご満足いただけるよう施設設備やサービス内容、職員
の処遇など、様々な面で努力いたしております。

「このたびのご利用はいかがでしたか...」

お気づきの点がございましたら、用紙の裏面に記入いただき、ポスト
までご投函ください。よろしくお願いたします。

職員一同

お風呂から来ました
一日中家のカベが壊れていて
夜寝る時も営業にもいれられ無料で
入浴出来たこと、誠にありがとう
ございました。
本当にありがとうございました。
ありがとうございました。



避難所から縄文の杜関原に到着
浴室へ向う利用者



法人バス3台にて
避難所の被災者を入浴施設へ移送



被災された利用者に
当時の状況を確認する政務官



緊急受け入れの状況を確認される

11月6日
江渡聡徳内閣府大臣政務官
震災地域視察・被災者激励にて榎山けやき苑へ

川中内閣府災害応急対策担当企画官
岩崎内閣府大臣政務官秘書官
池田厚生労働省社会・援護局総務課指揮観察局長
安井自衛隊統幕3佐



法人としての取り組みなど現状報告



震災緊急利用者への激励の様子

11月3日
尾辻秀久厚生労働大臣
震災地域視察・被災者激励にて榎山けやき苑へ

小島厚生労働省社会・援護局長
谷口厚生労働省医政局指導課長
岩淵厚生労働省災害対策本部事務局局長

県内はもとより全国からのボランティア集う!!

新潟県老人福祉施設協議会・関東ブロック連絡協議会を通じた介護ボランティア

定員を大幅に超える受け入れと、被災状況に応じての長期化を想定し、新潟県老人福祉施設協議会を通じベテラン介護スタッフのボランティア協力を依頼しました。関東ブロック連絡協議会のご協力もあり、県内は11施設34名、神奈川県より3施設4名、東京都より37施設53名の合計51施設より91名の方々によるサポートをいただき、緊急時であっても人員基準を満たす配置にてご利用者の生活環境の維持に努めました。12月からは長野大学派遣の学生ボランティアよりご協力いただいております。他にも、多くの個人ボランティアの方々より申し出をいただきましたが状況に合わせた受け入れとさせていただきます。

～至誠キートスホーム（東京都立川市）

山川 薫様からのお手紙～

近藤 和義様

先日、お送りいただいたお花の写真を拝見しました。何となく下田田舎の風景に似ていて、お花の姿が目に留まりました。お花の姿が目に留まりました。

優しいお花の姿が目に留まりました。お花の姿が目に留まりました。お花の姿が目に留まりました。

お花の姿が目に留まりました。お花の姿が目に留まりました。お花の姿が目に留まりました。

ペンで書いたお花の姿。お花の姿が目に留まりました。お花の姿が目に留まりました。お花の姿が目に留まりました。

平成16年11月27日

至誠キートスホーム 山川 薫

東京都立川市



東京都よりボランティア第2班到着。
江渡内閣府大臣政務官と玄関にて出会う

介護ボランティア感想

介護老人福祉施設
サニーヒル（神奈川県横須賀市）
秋山 淳様



私は11月3日から9日まで、けやき苑にて、ボランティアをやらせて頂いた。行く前は、正直不安で恐怖感に襲われていた。しかし、実際に行ってみると、けやき苑は被害が無く、落ち着きさえ感じられた。だが介護の現場では、緊急シートの受け入れに追われていた。そのような状況の中でも、施設全体で被災者を受け入れ、安心して頂けるように対応していたことに感動した。

秋山さんは神奈川県第1班での派遣後、ご自身の休暇を利用して後日再来され、ふたたびボランティア協力いただきました。遠方からの多大な協力、ありがとうございます。

災害弱者は今...

<上>

福祉施設が頼みの綱

避難者込み合い疲労増す



避難者込み合い疲労増す

「じいちゃん、おばあちゃん、お花の姿が目に留まりました。お花の姿が目に留まりました。お花の姿が目に留まりました。」

避難者込み合い疲労増す

避難者込み合い疲労増す



日本精神科病院協会派遣 心のケアチーム

被災地の精神保健スタッフとして医師、看護師、臨床心理士、精神保健福祉士等が全国各地より集まり、みしま園にて宿所を提供致しました。主に小千谷市の避難所を巡り被災者との面談・カウンセリングをおこなっており、他にも全国より集まった保健師と被災地域の個別訪問にて、健康面・精神面のケアを行っています。現地の子供たちには長引く避難生活の中、笑顔を忘れてしまっていることもあり「笑うこと、笑顔を取り戻すよう、アニメの映写会やレクリエーションを行っています。これまでに富山県、石川県、福井県、兵庫県、福島県より派遣がありました。（11/30現在）



兵庫県から第3班の皆様

